



国鉄新潟

NO. 728
発行
11・6月25日
国鉄労働組合
新潟地方本部
発行責任者
関川 和彦
編集責任者
教 宣 部

「KN山の会」を紹介します



今回は「KN山の会」の機関紙を紹介します。梅雨が終わると本格的な夏山シーズンになりますね。今年は雪が多いようですが、どんな状況なのか、後日、いろいろな報告を「国鉄新潟」の紙面の中で載せていきたいと思えます。

新潟地本のサークル活動では、他に「NRU新潟」マラソンクラブがあります。毎年開催している、エリア本部の駅伝大会に参加しています。他に、地域や自治会などで参加されている方々など、活動報告やイベントなどありませんか？「国鉄新潟」の紙面で紹介したいと思えます。地本・教宣部までお寄せください。



KN山の会たより

国 労 新 潟 山 の 会
発 行 所
新潟市秋葉区善道町1-1-1
〒956-0865 ☎ 0250-24-8336
FAX 0250-24-8337
2011年6月15日 No. 76号
発行責任者 大湊 茂
発 行 者 教 宣 部

御神楽岳報告

とき 6月4日AM500~
集合場所 国労事務所前

参加者=6名
大湊・坂井・小川・野村・長沢・風間
登り=約3:23 下り=約2:40
室谷コース
室谷登山口 6:17
↓1:41
水場 7:58
↓0:35
大森 8:33
↓0:50
雨乞い峰 9:23
↓0:17
御神楽岳(1386.5m)
約3:23 9:40

御神楽岳は、阿賀町の奥、福島県との近くに位置する山で、道幅も十分で危険な箇所はないが、ところどころ泥道なので足元注意!! この時期は、ブヨが多く白いシャツが必要だった。虫よけスプレーをかけたなら効果抜群でした。



朝日岳再挑戦

1870.3m 案内
とき 6月30日~7月2日
宿泊 考庵
集合時間 12:30分
集合場所 国労事務所前



今年の夏山は中央アルプス 延々と続く縦走路を行く

木曾駒ヶ岳・空木岳 前泊3泊4日

桂木場→木曾駒ヶ岳→宝剣山荘→宝剣岳→檜尾岳→熊沢岳→木曾殿山荘→空木岳→ヨナ沢の頭→池山小屋……2泊3日コース

とき 8月4日(木)~7日(日)4日は移動日

(1日目) 桂木場コース	(2日目)	(3日目)	
桂木場(1280m) ↓ちりめん坂 野田場 ↓ 馬返し ↓ 大樽避難小屋 ↓胸突き八丁 茶臼山分岐点 ↓ 西駒山荘 ↓遭難記念碑	宝剣山荘 ↓ 宝剣岳(2931m) ↓ 檜尾岳(2727.7m) ↓ 熊沢岳(2778m) ↓ 東川岳(2671m) ↓ 木曾殿山荘	木曾殿山荘 ↓ 空木岳(2863.7m) ↓駒峰ヒュッテ 分岐点 ↓ ヨナ沢の頭 ↓ 池山小屋 ↓ 池山林道終点	木曾殿山荘 =標高2500m ☎ =0573-72-4380 収容人数 =100人 宿泊料金 =1泊2食 8,000円

伊那市から小黒川沿いに延びる林道の終点に桂木場の登山口が有る駐車スペースは5台ぐらい。TAXIも登山口まで入る。(伊那市駅から約25分=3500円)

7月の計画 苗場山

2145.3m 案内
とき 7月24日(日)
早朝 AM 4:00
集合場所=国労事務所前
和田小屋~苗場山往復

5月30日、山の会で夏山について話し合いを持ち日程の確認と縦走コースについて話しあいました。7月の日程も確認してください。何か不明な点がありましたら国労山の会まで。TEL0250-24-8336

スエ子

文芸特集

今回の「文芸特集」は平成13年9月号の山脈集推薦作品を載せました。

引き続き皆さんからの、作品の投稿をお願いします。

お待ちしております。
地本教宣部



山脈集推薦作品

嶋屋 孤舟 選

俺に似た羅漢よおまえ泣き虫か	両川 洋々	遠い子へ二人暮らしのそばすする	塚田 素文
吊り皮が今日の戦を語りだす	佐藤 曙光	姿見に心の乱れ置いて出る	藤原 正秀
一匹の蟻が這ってる棒グラフ	笠原 高二	特別の八月がある私小説	伊東 マコ
ブランコを降りると風が来て座る	青木 城風	深追いはよそう電池が切れるから	高橋 朗風
多数決欠伸まじりの手も数え	鈴木 柳芳	山国の空の形で陽が落ちる	岸 剣水
哲学の道で拾った星の数	大関 ただし	せせらぎの水を携うて風の秘話	従野 健一
自動ドア自由の欲しい日もあろう	小西 雄々	蛇口から愚痴を流して米を研ぐ	花房 桃風
定型を守り続けるたこ焼き器	正司 珠梨	人間を売らぬ男の自負として	上田 千路
お一人様一つ限りの命です	山中 たい子	風と来て風と流れるちんどん屋	大村 美千子

阿達さん慰労会

国労東新潟機関区分会



阿達さんが、退職を向かえることになり6月3日、国労東新潟機関区分会で阿達さんの「慰労会」が新津・枅形屋で19時から開催されました。はじめに、勝山分会長から花束が送られました。つづいて嶋田さんより乾杯の音頭で開会しました。全体で、17名が出席し和やかな雰囲気の中、思い出話などあり、盛り上がりました。

阿達さんは、退職後は毎日、畑仕事で忙しいそうです。少し顔が日焼けしていて元気そうでした。約2時間の慰労会は、あっという間に過ぎて、最後に全体で記念撮影を行いました。楽しいひとときでした。

編集後記

今号で今年度、28号が発行されました。年間30号発行を目指していますが、あともう少しです。読者の皆さんから、いろいろな情報などありましたら地本・教宣部へよろしくお願いします。

地本 教宣部

